

ななな



奈良教育大学

創立120周年記念式典を挙

特集

正規教員採用率全国第3位!

学生の夢を支える就職支援室!



春
2009

奈良教育大学
イメージキャラクター
「なっきょん」

この1、2年の間に、奈良教育大学にとって節目となる出来事が続いています。まず平成20年度は、本学がその前身である奈良師範学校開校の明治21（1888）年から数えて120周年を迎えました。また平成21年度は、奈良学芸大学開学の昭和24（1949）年から数えて60周年を迎えます。昨春秋の大学祭のテーマは、創立120周年にちなんで「120ページ目」でした。120ページ目に何を書き込もうかという、若い皆さんのそんな意気込みが感じられた大学祭でした。

ところで、大学祭にはそれぞれの大学の思いや願いを込めた名前がつけられています。奈良教育大学では「輝覚祭（きぼうさい）」と呼ばれています。入学式や卒業式で歌われる学歌の冒頭の歌詞「天平の輝く覚（いらか）」に由来しています。

この歌詞にちなんだ訳ではありません。だが、もう一つ、奈良県や奈良市にとっても、大きな節目の年がやってきます。それは平成22（2010）年の「平城遷都1300年」です。すでにさまざまな事業が計画されているのは、ご存知のことと思います。「天平の輝く覚」というと、奈良の東大寺や唐招提寺などが思い浮かびますが、平城宮跡や大学の東側に位置する春日山原始林などと併せて、世界遺産「古都奈良の文化財」として登録されていることはよく知られています。

大学の高畑キャンパス周辺には、このような伝統ある歴史文化遺産が、至る所に点在しています。卒業生の皆さんは、学生時代をこのような恵まれた環境の中で過ごした訳ですが、同じように、新入生の皆さんも大学での学びに励むとともに、奈良の歴史環境・自然環境に思いきり浸り切つて欲しいと思います。

まるでこの時期に合わせたかのように、昨春秋には校舎改築中の大学構内か

ら、「新薬師寺の巨大金堂跡」が出土しました。大学キャンパスの「足元」に、このような遺構があったことにただただ驚くばかりで、埋蔵文化財の発見という学術的な価値はもちろんですが、創建当時の新薬師寺をしのぶ遺構として、学内で開催された二度の「現地説明会」には、それぞれ二千人を超える方々が参加されるなど、古都奈良の大きな話題となりました。遺構は既に保存のための埋め戻しを行いました。大学では、この遺構の保存や活用する方法等について、専門的立場から検討するための委員会を立ち上げています。

世界遺産が「ブーム」になって久しいのですが、「古都奈良の文化財」には「中国や朝鮮との交流によって日本の文化が大きく発展したこと」が遺産の一つの価値とされています。今年には遷都1300年の前年ですから、視野はさらに「藤原京から平城京へ」と拡がります。

7世紀はアジア、特に東アジアとの文化交流の盛んな時代であり、今の中国には唐という国、朝鮮半島には百済・高句麗・新羅という国々があり、今の日本では「倭（ヤマト）」から「日本」という国が成立する時代でした。

平城遷都1300年を控えて、あらためて奈良の歴史を振り返り、奈良から東アジアの未来を考える、いわば絶好の機会ととらえてはいかがでしょうか。これに先立ち奈良教育大学では、ユネスコ・スクールへの加盟（平成19年）とともに、文部科学省の「大学院教育改革支援プログラム」の採択を受けて、「地域と伝統文化」教育プログラム（平成19、21年度）を展開しています。教養科目や教科横断的な専門科目、世界遺産教育、「世界の中の奈良」（大学院）などが展開されています。それぞれの専門分野の学びに加えて、高い知性と豊かな教養を身につけて欲しいと思います。

THE PRESIDENT COLUMN

卒業生・新入生へのメッセージ



柳澤 保徳
奈良教育大学 学長

3 【学長コラム】

卒業生・新入生へのメッセージ

学長 柳澤 保徳

4 奈良教育大学創立120周年記念式典を挙

6 正規教員採用率全国第3位！学生の夢を支える就職支援室！

8 【大学の取り組み】

英国の大学における教員養成・教育実習

教職開発講座（教職大学院）教授 小柳和喜雄

9 【ラボ・レター】

児童の言語意識育成のために 個別具体の学びから

教職開発講座（教職大学院）教授 吉村 雅仁
理科教育講座 准教授 常田 琢

10 【ひと・あれ・これ】

成長し続けるために 26歳、これからの目標

奈良市立都祁小学校 堀井 崇晴
南都銀行本店営業部 吉岡 祐貴子

11 【留学生レポート】

ドイツ留学体験記 奈良での留学生生活

総合教育課程 生涯学習コース 4回生 井上 祐佳里
日本語・日本文化研修留学生 バゴウイチ ミリツワ

12 【課外活動】

きっかけはChange!! チームとして 未知の領域へ 花が教えてくれたこと

弓道部 部員 多田 宏一郎
硬式テニス部 主将 藤山 和也
地歌箏曲部 部長 的場 雄樹
華道部 部長 今井 美里

14 【附属校園では】

幼稚園 広い園庭を使ったからだづくりに取り組んでいます

附属幼稚園 教諭 石田 晶子

小学校 附属小学校における食育

附属小学校 教諭 谷口 明子

中学校 ESDの理念にもとづく学校づくりの取り組み

附属中学校 主幹教諭 井村 健

16 【大学の仲間たち】

アオスジアゲハ

自然環境教育センター長 前田 喜四雄

表紙紹介

なつきよん

昨年10月に誕生した、本学イメージキャラクター「なつきよん」。

モチーフこそ奈良の象徴「シカ」とのことですが、その角は「新芽」になっており、どこかファンタジーで温かさがあふれ出るキャラクターになっています。制作者の本学卒業生・秋田菜穂子さん（平成19年度教育学部卒）は、「育つ、育てる」というイメージを角の新芽に込めました。今後は奈良教育大生とともに、のびのびと育つてほしいとのこと。

なつきよんの活躍の場はほとんど広がりを見せています。デビューは昨秋の奈良もちいとのセンター街（奈良市）。大学祭をアピールするのが初仕事となりました。せんとくんブーム。一色の奈良のまちで、ひととき目立った大きな顔。観光客も「なんだ？」とカメラを向けるなど、大学祭の盛り上げに大きく貢献しました。その後、もさまざまな場面で活躍しています。

表紙は、本学附属幼稚園を訪問した際の1コマ。元氣いっぱい園児たちになつきよんも思わずたじろぎました！

本学学生のみならず、学外の方からの評判も、あの「せんとくん」にジワリと迫っているとかいけないとか。そんななつきよんの活躍は、下記ホームページからご覧いただけます。これからもなつきよんを応援してください！

表紙題字 名誉教授
池田 桂鳳

企画広報室

なつきよんのWEBサイト http://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/SECRETARY/image_character_nakkyon.html

ならやま
2009年春号

CONTENTS

120周年記念式典 ジョイント企画

奈良教育大学 写真展 ～120年を振り返って～

本学教育資料館にて、明治期から現在までの教育資料館所蔵の写真約200点をパネル展示し、キャンパス風景、そこに集う学生たちの写真を通してその変遷をお楽しみいただきました。



Calligraphy in Melbourne ～外国人への書道の指導～ 報告展

本学学生がオーストラリア・メルボルンにおいて、漢字圏でない外国人生徒への書道の実技指導を通して、改めて感じた「書道」の素晴らしさ、楽しさ。メルボルンの小学校の子どもたちが書いた作品やその授業の様子を撮影した写真やビデオなど、活動の記録を展示しました。※学生企画活動支援選定事業



新薬師寺旧境内大型基壇建物遺構の一般公開

附属学校特別支援学級校舎の改築に伴い調査を行ったところ、唯一不明とされていた新薬師寺金堂（七仏薬師堂）と見られる大型基壇建物遺構が発掘されました。そこから検出した遺物を教育資料館にて展示するとともに、遺構を一般公開しました。



奈良教育大学創立120周年 記念コンサート ～奈良教育大学同窓会が贈るピアノ とチェロの饗宴～

なら100年会館にて、古川由美 & 古川展生デュオコンサートを開催しました。
※主催：奈良教育大学同窓会



なっきょんも登場



ギターマンドリン部による一楽曲「もっと遠くへ」などの演奏



地歌寧曲部による 楽曲「雪花によせて」の演奏



〈記念講演〉
「私の日本研究—近世・近代の自伝における子供時代」
ハイデルベルク大学名誉教授 ヴォルフガング・シャモニ氏



記念シンポジウム「奈良教育大学への期待」
(左より) コーディネーター 淡野明彦副学長 / 大和郡山市長 上田清 氏 / 奈良県教育委員会事務局理事 山本吉延 氏 / 青木智史特任教員 / 柳澤保徳学長



多くの方が出席され華やかな会場

記念祝賀会 ～春日野荘にて～



挨拶に立つ柳澤学長



記念式典 奈良教育大学 講堂にて



奈良教育大学創立120周年記念合唱団による学歌斉唱



奈良教育大学創立120周年記念金管六重奏によるファンファーレ演奏
「one・twenty」(石崎一夫名誉教授作曲)



〈来賓祝辞〉
奈良市長 藤原 昭氏



〈来賓祝辞〉
奈良県知事 荒井 正吾 氏



〈来賓祝辞〉
文部科学省高等教育局専門教育課長
藤原 章夫 氏



柳澤 保徳学長による式辞

本学は、明治21年（1888年）11月18日に奈良県尋常師範学校として創設されて以来、多くの方々のご協力ご支援のもと、教員養成機関として、教育研究の充実・発展を続け、平成20年に創立120周年を迎えました。これを記念し、平成20年11月22日（土）に、本学講堂においてご来賓、本学卒業生、教職員等、関係者総勢350名の方々にお集まりいただき、創立120周年記念式典および祝賀会を挙行了いたしました。

奈良教育大学創立120周年 記念式典を挙行政

学長式辞 要旨

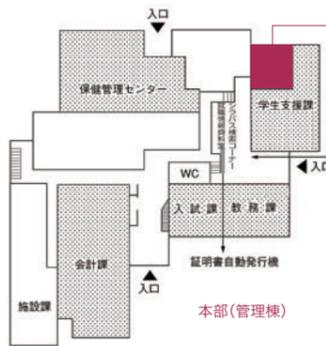
奈良教育大学創立120周年記念事業に際しましては同窓会をはじめ多数の方々から温かいご支援を賜わり、全学を代表して心からお礼申し上げます。

奈良教育大学は、その前身である奈良県尋常師範学校が創立された明治21年（1888年）から数えて120年を迎えました。前回の百周年記念式典から、時代が昭和から平成へとつり、あれから早くも二十年の歳月が流れたことになりました。今あらためて国立の教育大学・学部が日本の教員養成に果たすべき役割が問われており、従来にも増して教師の専門職性に基づく教員養成教育の質が問われています。

本学は、この120周年を契機として、さらに社会からの期待に応えるべく、教員養成教育の質の向上に正面から取り組むこととしました。既に、いくつかの教育大学・教育学部では、先駆的な教員養成カリキュラムの改革が進んでいます。奈良教育大学では、教員養成課程での4年間の学びの成果を、現代の新任教師に求められる目標資質能力基準に基づく到達目標としてあらかじめ示し、学生諸君が、何を学び、どのような資質能力を身につけたかを自覚しつつ、卒業後も自ら教師として成長できる教育をめざして、「カリキュラム・フレームワーク（Curriculum Framework for Expert Teachers）」と名付けた教員養成課程の教育改革を進めています。

「大学教員が何を教えたか」とともに「学生は何を学び、どのような力をつけたのか」を明らかにすることが、大学教育の質の保証と向上の観点からもわが国を含めた大学教育の世界的な潮流となっていることにも対応したものであります。

奈良教育大学は名実ともに新しい時代への船出の年を迎えようとしています。奈良の地で、学び創造、学び発信の旗を高く掲げて、小規模ながらも卓越した教師教育の拠点として、関西の単科教育大学の一翼を担い、わが国の教師教育の発展に向けての役割を積極的に果たしてまいりたいと存じます。皆様方のご支援をあらためてお願いする次第であります。



キャリアサロン

教員採用試験関係の参考書、企業就職のための資料図書、DVDがそろっており貸出も可能。企業就職、教員就職担当の相談員が学生の相談に応じている。テーブルやコピー機も設置されており資料収集や学生同士の情報交換に活用されている。



就職支援室とは？

重松理事(教育担当)を室長、岩本学長補佐(就職担当)を幹事に、室員7名、相談員2名(教員志望担当1名、企業志望担当1名)で、就職志望の学生へ就職ガイダンスの開催やキャリアサロンでの情報提供、各種相談に応じている。平成16年設立。



正規教員採用率全国第3位！ 学生の夢を支える就職支援室！

昨年末、文部科学省より公表された「国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)の平成20年3月卒業者の就職状況」。奈良教育大学は正規教員採用率(常勤教員採用率)43.7%で、全国第3位に輝いた。また、講師採用等も含めた教員就職率も全国第4位になるなど、教員就職を目指す本学学生の健闘が光っている。学生たちの「先生になる!」という熱い思いを全力で支援している就職支援室に、教員就職に強い秘密を見た。



キャリア相談員
北谷 勲さん

小学校・中学校の教員を38年間務めた後、教育委員会で学校教育指導員を担当する。現在本学就職相談員として教員志望の学生相談に応じている。

▼どういった支援をしているのですか

まず、受験する自治体や志望学校種別を聞きます。その自治体によって傾向や特徴が変わりますので、アドバイスの内容も変わります。早くからきてくれた学生とは、長く顔を合わせていますので、何をアピールしたらよいか見えてきます。それを志望先が望んでいる教師像とマッチさせていきます。一人一人、必ずよいところがあります。クラブやボランティア、趣味や特技、そして教員志望の人には必ず「先生になりたい」と決意したきっかけや憧れの先生の存在があります。そういうことを聞きながら、自分では気付いていないよいところを見つけ出します。そして面接試験などで自分のよさを発揮できるように対話しています。筆記試験や論文の対策にも心掛け、合格できるように支援しています。

以前は採用試験が近づくと混み出してきた学生の皆さんでいましたが、今後は予約表に書いてもらうことで混雑を緩和しようと思っています。

▼教員志望の学生にメッセージ
「先生」という仕事は、やりがいのある素晴らしい仕事です。「先



生になるんだ」という強い気持ちが一番の決め手です。教員採用試験は「何とかなる」? そんなことはありません。「何とか合格する」に、考え方を改めてください。そのためには一度は相談に来てください、できれば3回生の早い時期に。特に男子学生の皆さん。

教員採用試験を経験した皆さんが口をそろえていうように、一人で試験に臨むことは大変です。キャリアサロンで試験の不安などを話すだけでも少し楽になります。また、同じ志を持った仲間とも交流できます。参考書や資料、それに大学からのワンドリンクサービスもありますので、存分に活用してください。



教育学部学校教育教員養成課程
理数・生活科学コース 4回生
松坂 亮児さん
京都市中学校 理科教員に採用

キャリアサロンに 足を運んだきっかけは

キャリアサロンを知ったのは、大学が開催した就職ガイダンス。3回生の10月の始めに教育実習が終わり、とりあえず教員採用試験のために何をしたいのかかわらなかつたので、友人と相談に訪れたのが最初です。それから最初の頃は、週に1〜2回くらい来ていました。4月頃からは相談員の来られている日は毎日訪れていました。



教育学部学校教育教員養成課程
言語・社会コース 4回生
谷口 佳子さん
奈良県中学校 英語教員に採用

キャリアサロンに 足を運んだきっかけは

寮の先輩から「教員採用試験を受けるなら早めに行っておいた方がいい」と聞き、3回生の10月頃にキャリアサロンに来ました。

どのように利用していましたか

とりあえず、何から始めたら良いのかわからなかつたので話を聞きたかつたのと、その頃はまだ奈良県を受けるか大阪市を受けるか

どのように利用していましたか
主に論文や、エントリーシートなどを相談員の先生に確認してもらっていました。相談員と話しているうちに自分の長所などが明確になっていきました。また、ここくれば意識の高い学生が集まっているので、情報交換をしたり、時間を決めてお互いに面接や模擬授業の練習をしたりすることもありました。

利用してみた感想は

もちろん、いろんなことを相談できたこともよかつたのですが、それ以外にも同じ志を持つ仲間ができたことや、多くの教員採用試験に関する参考書や資料があり、コピーも無料でできたので、よく活用させていただきました。他大学にはこういう支援室がないのか、教員採用試験で一緒に頑張った他大学の学生にこの

で悩んでいたもので、その相談もしていました。

相談員の先生からは、どちらか一つに絞る方がいいとアドバイスをいただき、両自治体における教員採用の特徴をいろいろと教えてもらいました。その結果、早くから志望先を絞り込むことができました。

その後は、8月の1次試験(筆記試験)に向け勉強に集中し、教育時事などが載っている「教職課程」などをキャリアサロンでよく見たりしていました。相談に頻繁に開始したのは、自己PRや論文に取りかかつた時です。すごく大変と聞いていたので、相談員の方に添削をお願いしによく通っていました。その頃になると多くの学生がキャリアサロンへ相談に訪れるようになり、結構混んできていました。



学長補佐(就職担当)
岩本 廣美 教授

▼正規教員採用率が43.7%になったことについて

現役生の正規教員採用率が43.7%で全国第3位になったことは、大変意義を感じます。平成20年度には、教員を目指した学生の実に3分の2が正規採用されています。やはり、教師になりたい学生全員が採用されるのが一番だと思いますので、今後もしっかりと正規採用者数が増えるよう、サポートしていきたいと思っています。

▼正規教員採用率・教員就職率上昇の要因は

これらの上昇の要因は、もちろん学生自身の教職への意欲の高まりや努力にあると思います。それに加えて、やる気になった学生をサポートする体制が充実してきたことがあると思います。5年ほど前から、そういった就職支援体制の充実を図る目的で設置されたこの「就職支援室」もその一つです。本学卒業生である教員の方や教員OBの方などによるサポートも、大きな要因になっていると感じます。

その他にも要因として考えられることがあります。それは、学生が大学の勉強以外にも日頃から色々な活動を始めるといふことです。われわれは「良質な経験」と呼んでいるのですが、ボランティア活動や、本学のフレンドシップ事業などの活動を通じて、いわゆる「学校体験」などをすることで、学生自身が感じたり考えたりするなど多くのことを学びとっています。教員採用試験は最近人物重視の方

施設のことを話すと、羨ましがられたりすることもありました。

これから教員採用試験を受ける 後輩へメッセージ

10月の教育実習が終わればどうしてもホッとしてしまうのですが、相談は4月には混み合ってくるので、とりあえず何をすべきかを確認するために、早い時期にキャリアサロンに話を聞きに来るのがいいと思います。自分のよさを見つけてきて、小さな不安も相談すればアドバイスももらえるキャリアサロンは心強い。大学受験と違って、教員採用試験は面接が合否に大きく関わってきます。一人で勉強するのはなく、仲間と一緒に勉強し、あきらめず最後まで頑張ってください。

利用してみた感想は

私は、少し恥ずかしがり屋に見えるので、もっと自信をもった方がよいとアドバイスを受けたことが、模擬授業などで大きな力になりました。また、相談員の方はいつも私のよいところを見つけ、引き出してくれました。それがすごく自信につながりました。

これから教員採用試験を受ける 後輩へメッセージ

1人で教員採用試験に挑むことは無理。客観的に自分を見てくれる人が必要だと思いました。キャリアサロンは筆記の勉強に使える参考書や資料があるし、試験のことや小さな不安などにも相談に乗ってもらえるので、精神的にもとても支えになりました。ですから早い時期から活用すればいいと思います。

向になっており、もちろん知識中心の筆記試験のみでは採用してくれません。学校ボランティアなどで経験したことを学生が自分の言葉で伝えることにより、面接において高く評価されているのだと思います。

▼最近の傾向は

先程も言いましたが、教員採用試験は人物重視の方向になってきています。大学生活をいかに充実させたかが問われます。

また、多くの自治体で、教師塾など教員志望者を対象にしたセミナーが開催され始めています。もちろん、志望先のそういったセミナーに参加することは非常に重要ですし、そのためには、教員を志望する学生には早めに志望先を明確にし、早い段階で「相手を知り」行動することが、教員就職には必要だと感じます。具体的には、そういった教員志望者向けセミナーが始まる前の、3回生の4月か5月頃には意思を明確にし、志望先を絞ることを考え始めてほしいです。

▼最後に

学校教育教員養成課程の約6〜7割の学生が、キャリアサロンを利用しています。逆に言えば、約3割の学生はまだ利用していません。もちろん、そのうちの何名かは教員に採用されていますが、利用していた学生と、してなかった学生では、合格者の割合は大きく差があります。ですから、まずキャリアサロンに足を運んでほしい。早めに意思決定するためにも、3回生の4月から5月には相談に来てもらいたい。もちろん教職に就くのか、あるいは違った道に進むのかといった迷いもあると思いますが、キャリアサロンには教員関係の資料も企業関係の資料もあり、相談に応じてくれる体制があります。困った時、悩んだ時こそ利用してほしいと思います。一人では来づらい場合は友達同士で誘い合ってください。

英国の大学における教員養成・教育実習

教職開発講座(教職大学院) 教授 小柳 和喜雄



2009年1月6日〜12日、平成20〜21年度専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム「実習到達度を明確にした実践的指導と評価法」により、英国へ調査に出かけました。このたびは、ロンドン大学とともに、現職研修、とりわけ管理職候補者・中堅のリーダーシップ養成の中心と言われているミッドランド・リーダーシップセンター(The National College for School Leadership (NCSL))及び上記2機関と連携しながら、教員養成に力を入れているWolverhampton 大学等を訪問しました。

英国の教員養成・教師教育は、よく知られているように教師の職能成長を見通した「専門職としての教師に求められる資質能力」として、(1) Qualified Teacher Status、(2) Core、(3) Post Threshold、(4) Excellent Teacher、(5) Advanced Skills Teacher の5つのレベルを明らかにしています。これら5つのレベルは、①子どもとのコミュニケーションや関係作り、職能成長への見通しなどに関わる Professional attributes、授業力や評価力の知識・理解と関わる Professional knowledge and understanding、③ 具体的な専門的スキルと関わる Professional skills、という3つの基本カテゴリでそれぞれ構成されており、その5つのレベルの職能成長に即して、それぞれ連続して求められる資質能力規準が明らかにされています。つまり(1)〜(5)を縦軸とすると、①〜③の横軸で格子を構成し、それぞれの格子に、資質能力規準が示されているという

形になっています。そのため、教師になるための出発点として求められる(1) Qualified Teacher Statusは、一番多く規準項目を持っています。そして、職能成長するに従って、規準項目の内容自体は高度なものとなりますが、基準としての項目数が減少していく(達成され内化されたもののみならず)形式となっています。

Wolverhampton 大学も例外ではなく、(1)の規準を満たすようにプログラムが生まれ、その達成を示すためのエビデンス(証拠)の提示(その所在情報)を、ポートフォリオを通じて示すようにされています。教育実習も、この基準を満たすべく工夫がなされ、各実習でどの日にどの場面で、これらの資質能力規準項目のどれと関わってその習得がなされたかを振り返って記述し、そのエビデンスを残していくための道具が用意されていました(振り返りを促す実習記録のノート、実習ガイダンスなど)。

そして、実習指導との連携が講義の中で緊密に図られるように、大学の講義室も、講義や講演のための部屋と、学校の教室・特別教室などをシミュレーションした形の教室、といった具合に多数用意されていました。そのため、実習前・実習後に、教室を想定した形で事前学習や事後学習の講義ができるように工夫されていました。

また、実習の評価に関しては3段階の仕組みになっており、まず実習生と実習校の指導教員が、(1)の規準に基づいてアレンジされた評価表を使って、毎日のような力を付けたかを評価し

ます。次に、学部の指導教員がその歩みのポートフォリオなどを参考にしながら、身につけた力を確認します。それらを経てきた実習記録や評価表などは、大学の直接指導に当たらなかつた教員がチームで評価し、評価が正当に行われているかを査定するという仕組みをとっていました。極めて厳密な質保証をする体制が取られているのを感じました。

さらに、このように明確にされた資質規準に基づいて、職能成長をモニターしながら進めていく取り組みは、現職研修やミッドランド・リーダーシップセンター(The National College for School Leadership (NCSL))のインタビューを通じても感じられました。

この調査を通して、学部の教育実習と大学院における教育実習をつなぐ基準の明確化、それを支援する道具、質保証のための評価の仕組みや組織について、具体的な見通しを得ることができました。



Wolverhampton 大学の学部長・副部長と会談



学校の教室を真似た大学の講義室

児童の言語意識育成のために



教職開発講座(教職大学院) 教授 吉村 雅仁

多言語化する教育現場と 外国語活動

文部科学省の発表によると、平成19年度9月現在、国内の公立学校に在籍する、日本語指導が必要な外国人児童生徒は2万5千人を超え(調査開始以来最多)、そのうち約1万8千人は小学校に在籍しています。全国の公立小学校数が約2万2千校ですから、単純に計算すると5校中4校にそのような児童がいることになりました。彼らの母語別構成を見ると、ポルトガル語、中国語、スペイン語の3言語で全体の7割以上を占め、フィリピン語、韓国・朝鮮語、ベトナム語がそれに続きます。

「厄介な存在」から 「貴重な存在」へ

日本語以外の言語を母語とする児童は、学級担任にとって「厄介な存在」かも知れません。何とか支援したいと思っても、児童や保護者が中国語やポルトガル語話者



写真上: 複言語教材を共に開発するゼミのメンバー
写真下: スペイン語収録風景(慶応大日吉キャンパス)

の場合、為す術がないというのが現状だからです。総合的な学習の時間に、国際理解教育の一環としての外国語活動(次期指導要領では高学年必修)があるものの、原則として英語しか扱われません。実際、「国際理解」と称して英語活動を行いながら、児童の身近にある異言語・異文化の存在を無視していることに気づかない例も多く見受けられます。

このゼミでは数年来、国際理解教育を目的とする小学校英語活動の在り方について、実践を踏まえながら研究をしてきました。その結果、英語活動では、国際理解教育の課題に対応することが極めて困難であることがわかってきました。そこで現在、総合的な学習の時間等で、学級担任が使用可能な多言語・複言語教材の開発を行っています。日本語以外の言語を持つ児童の支援だけでなく、彼らを取り巻く児童の言語意識育成に役立つことを願っています。

個別具体の 学びから



理科教育講座 准教授 常田 琢

階層化された自然

「ものの性質を知るには分解してみれば良い」というのが物理学の伝統的な考え方です。エンジンの仕組みを知るにはクランクとシャフトを取り出せば良い、原子を分解してクォークに分けてみれば良い、という立場から、クォーク―原子―物質―人間―大陸―地球―恒星系―銀河と連なる宇宙の階層構造が明らかにされてきました。

物理現象には、階層を超えた共通性が見られることがあります。ひげ剃りの泡は時間が経つとくつき合って粗くなりますが、岩石の形成時に粒径が粗くなる時と同じ法則に従います。また、不揮発メモリの一種である磁気バブルにも共通の性質が見られます。物理法則の普遍性には人を魅了するものがあります。

しかし、どんな法則も具体的な系を実験観察することでしか得られません。



初代ゼミ生

■ ナノ世界の探索

私はこれまでナノサイエンスを研究してきました。原子のレベルで物質を設計することで、未知の特性を持った電子素子を作ろうとしています。原子・電子のふるまいは、非日常的であっても自然の一部です。遠い世界のこと想像できるような、日常的な応用を通して教えられればと思います。

教育は学際的な分野ですが、一つ一つを深く理解できていなければ、全体像を描くことはできないと実感しています。ゼミの学生には、将来役に立つかどうかを忘れて、好き勝手に何かを勉強する時期を持つて欲しいと思います。一つを深く掘り下げること、他の深さを想像できるようにする――これは自分の目標でもあります。

成長し続ける ために



奈良市立都祁小学校
堀井 崇晴
(平成12年3月 大学院修了)

長いような短いような

この都祁小学校に赴任し、六年が過ぎようとしています。単学級の小さな学校ですが、自然豊かな教育環境の素晴らしい地域です。ここでの六年間を振り返ると、まだまだ学ばなければならぬことがたくさんありますが、自分では「教師」として少しずつ成長してきたと感じています。

授業で大切なこと

教師が勝負するものは、「授業」です。子どもたちの心に響く授業をすることです。そのために写真や絵などの掲示物を使い、視覚的に楽しい板書、子どもも理解度に応じて選べるワークシートなどを工夫しました。そして、一番大切なのは「発問」です。子どもたちに、学習で身に付けて欲しい力や学習のねらいを十分考えて「発問」にしていきたいと思います。私自身もまだまだ学ばなければなりません。

子どもたちとの関係で大切なこと

次に大切なことは、子どもたちとの信頼関係です。一年目の私は、子どもたちの話をしっかりと聞くことができませんでした。この関係が崩れてしまいました。私の力不足と反省しています。それ以来、私は子どもの話に耳を傾けることを第一に考えています。たまには授業が始まっていても、とことん話を聞くことがあります。また、できる限り一緒に遊ぶ時間を作っています。そして、子どもが主体の学級会も大事にしています。私も必ず参加の「学級遊び」を決め、いろいろなルールを話し合いました。一緒に遊ぶ中で、子どもたちの様子や人間関係を観察し、子どもたちと信頼関係を築いていこうと思っています。都祁小学校で学んだことを生かし、子どもたちとの出会いを大切に、「教師」としてさらなる成長をしていきたいと思います。



私の授業の様子

ひと・あれ・これ

26歳、

これからの目標



南都銀行本店営業部
吉岡 祐貴子
(平成17年3月 教育学部卒)

銀行を選ぶ理由

皆さんは銀行を選ぶ際、何を重視されているのでしょうか？
私の働く南都銀行は、奈良県を中心として展開している地方銀行です。しかし、奈良県にもいろいろな金融機関がある中で、南都銀行を選び利用していただいているのには、きつと何か理由があると思います。

お客様と接する日々

私は4年前の春、新入行員として本店営業部に配属されました。ジョブローテーションで、さまざまな部署や場所を働かせていただき、今は窓口業務(テラー)をしています。テラーの相手は常にお客様。同じサービスを提供しても、お客様によって反応はさまざまです。常にベストな接客を心がけていますが、時にはお客様を怒らせてしまうこともあり、落ち込むこともあります。そして最近では、相続の絡んだ資産相談などを受けることもあり、自分だけではベストなサービスの提供ができていないと感じる時があります。もちろんそんな時



本店営業部の窓口にて

には、上司の協力を得て接客に当たります。しかし、自分の知識のなさを痛感するたび、まだまだ勉強することは多いと反省させられます。

選ばれる銀行になるには

お客様に「銀行の窓口で相談してみても良かった」と言っていたように、テラーはさまざまな知識を持ち、常にお客様の立場に立った接客をしていかなければなりません。できれば、インターネットやATM等で便利に取り扱えるにこだわらざるお客様は減少していくと思います。「南都銀行の窓口で相談して良かった」と言っていただけのようなマネーアドバイザーになるのが、私のこれからの目標です。
さて、皆さんはどのような理由で銀行を選びますか？

留学生レポート

ドイツ留学体験記



総合教育課程 生涯学習コース 4回生

井上 祐佳里

from Germany

よく学びよく遊べ

私が通っていた大学附属の語学学校では、ドイツ語を学ぶために、いろいろな国から多くの人が来ていました。そのおかげでドイツにいながらにして、様々な国の友達と出会うことができました。授業では、互いの国の文化や習慣、歴史などを発表したりと、実に国際色豊かなものでした。また彼らと共に過ごし日本のことについて聞かれるたびに、うまく説明することができず、自分が日本のことをあまり知らないんだということも気づかされました。夏には川岸で、みんなでバーベキューをしたり、ビールを飲んだり、ピクニックしたり。冬には本場の綺麗なクリスマスマーケットが登場し、街中がデイズニランドのようでした。ドイツ語と異文化な遊びに全力を尽くした一年でした。

ドイツから帰国し、再び日本での大学生活が始まった私は、ハイデルベルクで過ごしたあの一年間が、まるで長い夢のように感じています。いろいろな国の友達、異文化の経験、語学、想いを伝えようという気持ち、多くのことを学び、貴重な出会いや経験ができた本当に素敵な一年だったと思います。これからも一人でも多くの人が、このような体験をしてほしいと思います。



ハイデルベルクで行われたカーニバルにて

留学生レポート

奈良での留学生活



日本語・日本文化研修留学生
パヴコヴィッチ ミリツァ
from Serbia

留学生としての毎日

日本はセルビアと全く違いますので日本の生活は最初は少し苦しかったです。ですが、案外早く慣れたと思います。それは、日本人はみんな親切ですし、日本はさまざまな点で私の国よりも生活しやすいからだと思います。その結果、今では、もう寮の自分の部屋を「部屋」と言う代わりにいつも「家」と呼んでしまっていて、奈良を自分の家のあるところと同じぐらいに感じています。

日本に来てからほとんど毎日、色々な出来事や活動で予定はいっぱいでした。平日のほとんどは授業で忙しいことはもちろんですが、奈良教育大学の留学生は、遊ぶ時間も多いと思います。奈良は文化的な建物がたくさんあるし、奈良からは京都も大阪も近いので、それをいかしていろいろな観光をしたり、留学生の友達とカラオケや喫茶店などで遊んだりして毎日、面白く暮らしています。

私は一人っ子ですから、国でも日本でも友達を大切にします。留学生の中にも何人か本当に気の合う人を見つけたのですが、ひとつ残念なことは、今はまだ日本人の友達があまりできていないことです。日本人の若者ですごく恥ずかしがり屋だと何度も聞いたことがあります。日本人だけではなく、たくさんのヨーロッパ人も知らない人に声をかけるのはとても恥ずかしいことだと思います。特にひどく違う文化圏に属している国の人と話すことは私にとっても少し怖いことです。でも、そういう気持ちに負けず、これからはもうちょっとがんばって日本人の友達を作りたいです。



大学祭を楽しむ留学生たち

弓道部

きっかけは Change!!

部長 多田宏一郎

入部のきっかけは、コースで仲良くなった友達の一言。入るまでは簡単そうに見えるけど、実際にやってみると「意外と大変なクラブだなあ」というのが入部してすぐの感想でした。大きな大会で、まさかの新人起用。私の名が告げられた時、私の心は嬉しさと緊張の二つで一杯になってしまいました。今思えば、出させてくれた先輩も気が気ではなかったと思います。

「あつ、あの時こうしておけばよかった」という考えから、「よし、次はこうやって挑戦してみよう」という Change が大切ですね。未来はこれから自分たちが作り上げるもの。だからこそ、皆さんもぜひ一度考えてみてください。今年の後輩も入り、また新たな出会いが待っていることに喜びを感じています。緊張で胸が一杯だった私、悔しくて涙を隠そうと必死だった私を支えてくれた多くの先輩方のように、後輩にとつて緑の下の力持ちのような先輩でいたいと思っています。



部員たち

クラブ活動でも勉強でも、今まで挫折を何度も経験したことと思います。『一難去つてまた一難』、これからはあまりの辛さに、もう全てを投げ出したいと思うことすら出てくるはず。そんな時は、少し自分の胸に手を置いて、明日の自分と相談してみようでしょうか。私自身、数回の大学受験を経験してしまい、そのたびに自分自身の無力さを情けなく感じていました。もちろん今も、勉強や弓道など、いろんなことで悩んだり考えたりします。しかし、そんな時はいつもちょっと先の未来の自分を考えるようにしています。過去を振り返っても、歴史が普遍的なものと同じで、決して変えることはでき

地歌 箏曲部

未知の領域へ

部長 的場雄樹

最近あなたは、和楽器に触れたり、音色を聞いたりしましたか？地歌箏曲部は、ふだんなかなか触れる機会が少ない、箏や三味線、尺八などの和楽器演奏を中心に活動しています。和楽器や三味線と聞くと「何か難しいな」「習いづらそうだな」というイメージがあるかも知れません。しかし、和楽器というものは非常にシンプルで、他の楽器にはない独特の音色を奏でてくれます。確かにロックやポップスなどの音楽も面白いですが、たまには日本古来の音楽を楽しむのも心地良いですよ。

では、具体的にどのような活動をしているのかと言うと、基本的には大学祭である「輝覚祭」での演奏会を目標に、毎週お稽古に励んでいます。また今年には「積極的に舞台上に立とう！」という決意のもと、さまざまな場所での演奏活動に取り組んでいきたいと思っています。すでに1月は、介護実習でお世話になっている大淀養護学校での新年会に出演したり、奈良のイングリッシュ・バーにおいて、部員全員で企画・運営し邦楽ライブを行ったりしました。今後は、小学校での邦楽体験授業にも参加させていただく予定です。

さて、新入生の皆さん、大学という未知の領域に対してどのような思いを抱いているでしょうか？楽しみや不安が入り混じった、複雑な気持ちかも知れません。人は、自分とは異なるものと接触する時、多かれ少なかれ不安を感じるものです。私たちも、先ほど述べた「バー」での邦楽ライブという未知の領域に足を踏み入れる際、期待とともに不安も感じていました。しかし、「1人でも多くの人に自分の音が届きたい」という強い目標を持ち続けていたので、不安に負けることなく演奏することができました。ですから皆さんも、新しい一歩を踏み出す時、「自分はこんなことをしたい!!」という目標を強く持ち、不安に打ち勝ってください。それを乗り越えた時の達成感、一生忘れられないものになると思います。



大学祭にて

課外活動

硬式 テニス部

チームとして

主将 藤山和也

私たち硬式テニス部は、現在男子8名、女子4名で活動しています。私たちの部活には、大学に入る前からテニスをしてきた人や、大学に入ってからテニスを始めた人などさまざまな人がいます。そんな中、私たちはみんな一緒に同じコートで練習し、お互いにアドバイスをし合いながら、実力の向上を目指しています。

私たちの部活では、主に二つのことを大切にしています。まず一つ目は、テニスを楽しむことです。何をやるにしてもいやいやしていたのでは実力はずきません。自分の実力を向上させる一番のコツは楽しむことだと思います。楽しく自分を磨くことが私たちのモットーです。二つ目は、チームとしての意識を大切にすることです。テニスは、シングルの1人、ダブルスは2人で試合を行うので、団体競技というよりは個人競技と言えますが、私たちはそれぞれ、チームとしての意識を大切にしたいと考えています。テニスの技術において、得意としているものと苦手としているものは1人1人違います。従って、それらの練習は1人ではできず、一緒に練習する仲間が必要です。また、競い



テニスコートにて

合う仲間や支えてくれる仲間がいるから強くなることができるし、個人競技であるからこそ、そのような仲間との存在はとても大きいのです。だから私たちは、お互いに助け合うチームとしての意識を大切にしています。テニスは難しい競技です。しかしその分、今までできなかったことができるようになった時の達成感はとても大きく、やりがいのあるスポーツです。大学に入ってからでもテニスを続けたい人だけでなく、大学から始めたい人、思っている人も大歓迎です。さあ、テニスをして大学生活を楽しく、そして有意義に過ごしませんか。

華道部

花が教えてくれたこと

部長 今井美里

私たち華道部は、毎週水曜日に学外から先生をお招きして活動しています。

華道と聞くと、堅苦しい印象を持たれる方が多いと思いますが、私たちは流派に関係なく、誰でも気軽に生けることを活動方針としています。昨年から留学生2人を新たに加え、他国の文化の話に花を咲かせながら、さらに楽しく活動しています。特に留学生から学ぶことが多々あり、アゼルバイジャン出身の彼女は、花を通していろいろな悲しい国の話を聞かせてくれました。花を生けることは、ただ目で楽しむだけでなく、世界中の人の心を和ませると気がかりました。

また毎年、大学祭期間中には生け花の展示を行っております。昨年の大学祭では、10種類の花器に30種類近くの花や木を、思い思いにみんなが生けました。ふだんの活動でも、色とりどりの花が豊かな香りと共に、私たちに季節の移り変わりを教えてくれます。他の多くの人にも季節を感じてもらいたくて、最近ではお稽古で余った花を学内に飾るなどしています。

慣れない部長という役割に就いた時、何でも一人でやろうと気が負い、挫けそうになったことがありました。それでも諦めずに頑張つて来られたのは、先生や部員の方々、先輩方の支え、また展示を見に来られた方の温かい応援の言葉があったからです。新入生の皆さんには、慣れない生活に不安を感じたり、挫けそうになったりすることがあるかもしれませんが、そんな時は立ち止まって辺りを見渡してみてください。頼りなげに道端に咲く小さな花も、互いに支え合い懸命に生きています。決して一人ではなく、きつとあなたも誰かに支えられて生きていくのですから。



お稽古風景

部員の作品

幼稚園

広い園庭を使った
からだづくりに取り組んでいます

附属幼稚園 教諭

石田 晶子



おはようたいそう

朝、ほとんどの子どもたちが登園すると園内には「おはよう〜おはよう〜♪」と明るい音楽が鳴り響きます。子どもたちは一斉に園庭に飛び出し、友達と顔を合わせて歌を口ずさみます。みんなが揃うと「おはようたいそう」の始まりです。からだの曲げ伸ばし、正中交差などさまざまな動きを体操の中に取り入れ、無理なく楽しんで取り組んでいます。

朝からしっかりとからだを動かしたり、声を出したりすることで、からだのさまざまな



みんなで楽しくマラソン

感覚に刺激を与え、頭もからだもすっきり目覚めます。「おはようたいそう」によって、遊びに対する意欲も増し、友達と誘い合って元気に遊び出す姿が目につきます。

マラソンでからだづくり

体操の後には、マラソンをすることもあります。広い園内や、子どもの森を走ります。子どもの森には木の根っこがあつたり、でこぼこや坂道があつたりしますが、慣れてくると子どもたちは足を取られることなく、びよんびよん上手に走っていきます。年長児は、園内だけでなく時には門から外へ出かけ、附属小学校や大学近くまで走ります。そんな年長児の姿は、年中・年少児にとつて憧れでもあります。また、親子でマラソンをする機会を設け、保護者には子どもたちの日頃の姿や頑張る様子を知らせています。家庭でも一緒に体を動かして遊ぶきっかけとなるよう願っています。

園内の環境を生かして

このように、日頃から体を動かす機会

中学校

ESDの理念にもとづく学校づくりの取り組み

附属中学校 主幹教諭

井村 健



食育オフィスと連携して

は、何が入っているの?」「これは、体をつくるものが入っているから、ちよつとでも食べてみよう。」というような積極的に食べようとする姿勢が子どもたちに見られ、給食の残食量も少なくなりました。(写真①)

ユネスコ・スクールへの
加盟と国際交流

2008年度、本学の「教員養成大学による地域食育推進プログラム―食育オフィスの開設と食育リーダーの育成―(http://maisrv.nara-edu.ac.jp/~suzuki/syokukugp/toppage.html)」が文部科学省の「質の高い大学教育推進プログラム」に採択されました。そのプログラムに関連し設置された食育オフィスと連携し、大学や附属校園の先生方、県下の公立小・中学校教員や栄養職員の方々と食育に関する教材開発研究を進めています。これからは子どもたちの「食」についての研究をさらに進めていきます。



写真①

奈良教育大学
イメージキャラクター
「食育なつきょん」



本校では、「ESDの理念にもとづく学校づくり」を研究テーマに取り組んで、四年目になります。昨年七月には、ユネスコ・スクールへの加盟が承認された。今回の加盟を機に、昨年八月には次のような活動に参加することができました。まず、ユネスコ・スクールネットワーク(ASPネット)主催の、日本とインドネシアの中学生による国際交流ワークショップ(東京)、「持続可能な未来を創るアジア少年ワークショップ」未来を選択するのはわたしたち」に代表生徒6名が参加しました。このワークショップでは、日本の中学生とインドネシアの高校生とが、共に「よりよい未来を創るために」をテーマに交流を深めました。教員対象の活動としては、ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)主催の「ACCU国際教育交流事業韓国政府日本教職員招へいプログラム」に参加する機会を得て、ユネスコスクールの善隣中学校・果川高等学校・南星女子高等学校で行われているESDの素晴らしいことに、直接触れることができました。また「世界遺産教育を進めるための視察」と

を取り入れることで、自ら選んで遊ぶ活動の中でも、「おにごっこしよう!」と子どもたちから声が上がります。園庭の真ん中にある円形の芝生は広さもちょうどよく、その中で追いかけて逃げたりするため敏捷性も培われます。

小学校

附属小学校における食育

附属小学校 教諭

谷口 明子



「食に関する指導の計画」
(食育プログラムの作成)

今回告示された新小学校学習指導要領で「食育」を「保健体育、家庭科、特別活動などにおいても、それぞれの特質に応じて適切に指導を行うよう努めること」と明記されました。附属小学校では家庭科部会を中心にして「食に関する指導の計画」を作成し、子どもたちに健康で豊かな食生活を考えさせることを目標にしました。学校給食を活用しつつ、給食時間だけではなく各教科や学級活動・児童会活動などでも指導を行います。5・6年の家庭科での食物領域の栄養学習との系統性を考えつつ、低学年や中学年の学級活動で食育に取り組みます。おうちの方とは、学校保健委員会での給食の納入業

子どもたちの体力低下や、遊び場所が少なくなってきたと言われる中、幼児期から体を動かす楽しさを十分に感じて欲しいと考えています。園内の環境を生かしながら、丈夫なからだづくりを大切にしていきたいと思えます。

者との話し合いや、産地見学、食に関する講演会などで共に食について学び、給食試食会などで食に関する意識を高め、理解や協力を得ていきます。

授業の実際・・・中学年(4年)の
実践「食べ物のほたらき」

第二次性徴を目前にした子どもたちにはカルシウムを意識して積極的に摂ってほしい、という願いで取り組みました。学級担任と栄養教諭とのチームティーチングの形で授業を組み立てました。給食では、毎日牛乳や乳製品がよく出されます。子どもたちは、その理由を体の中のカルシウムの働きの理解を通じて学びました。この授業をスタートに食べ物の体の中の働きを3つに分けて学習しました。学習後、「この食べ物に

して、シルクロード方面の現状視察に行く機会も得ました。これらの活動を通して得られた貴重な経験を、今後のESDの取り組みに生かしていきたいと考えています。

「平和のつどい」の
取り組みを通して

附属中学校がESDで取り組んでいる

の子どもたちがどのような状況に置かれているのか、児童労働・少年兵・識字」をテーマに講演をしていただき、次の週に生徒会主催でワークショップ。平和宣言・全校合唱の発表等を行い、それまでに取り組んできた内容をさらに深めました。今後は、生徒会を中心にしたESDの取り組みが、一層活発に行われるよう取り組んでいきたいと考えています。

*ESD (Education for Sustainable Development)
: 持続可能な未来のための教育

るテーマには、世界遺産教育や環境教育、人権教育、多文化共生教育、平和教育等があります。1987年から生徒会が中心になり、戦争、貧困、差別、環境破壊などに苦しむ世界の多くの人々の状況を知り、それを救済するためにどのような活動が必要なのかを全校で考える「平和のつどい」を行っています。現在、日本ユネスコ協会連盟が行っている「世界寺子屋運動(世界中の学校に行けない子どもや、学校に行けずに大人になり、文字の読み書きができない人々が「学びの場」寺子屋」で読み書きや算数を学べるように、教育の機会を提供する運動)をはじめとするESDの取り組みを行っています。一月には、日本ユネスコ協会連盟事務局の木村まり子氏から、「地球上の同世代



平和のつどい (平和宣言)

大学の 仲間たち



和名 アオスジアゲハ
学名 *Graphium sarpedon*
分類 アゲハチョウ科
(鱗翅目、昆虫綱)
翅開長 55～70mm

アオスジアゲハ

大型のチョウであるアゲハチョウの仲間。アゲハというと、黄色っぽいか黒色っぽい色を思い浮かべる人が多いと思うが、本種は黒色の前翅先端から後翅後端近くまで、真ん中に幅広い青色斑が連なり、これが名前の由来になっている。翅の形も他のアゲハよりは前後に細長い感じがする。そのためか、飛び方がすばしっこく、飛翔中はチョウの名前を確認しづらいし、捕虫網による捕獲も難しい。しかし、花で吸蜜中や、幼虫が食べて育つ「食草」であるクスノキに産卵するためにその周辺を飛んでいる時には青い筋が目立ち、そのような時には識別は容易であるし、捕獲も比較的易しい。本種にはクスノキが多く植栽されているので、本種を見るのは珍しいことではないが、多くの人から見落としているようである。構内では5月から10月初めにかけて、年3回チョウになる期間があるようであり、その間に見られるが、6月にはほとんど姿を見かけない。本種が周辺を飛び回っているクスノキを丁寧に探すと、その幼虫を探し出すのは難しいことではない。冬眠は蛹で行われる。



自然環境教育センター長
前田喜四雄

URL <http://www.nara-edu.ac.jp/ECNE/index.htm>



奈良教育大学 広報誌

第30号 平成21年3月18日 編集/広報・情報公開委員会 発行/国立大学法人奈良教育大学
〒630-8528 奈良市高畑町 TEL. 0742-27-9104 FAX. 0742-27-9141
<http://www.nara-edu.ac.jp>

企画・広報室までご意見・ご感想をお寄せ下さい。
お寄せいただいた方の中から抽選で「なっつきんストラップ」を差し上げます。
【奈良教育大学 企画・広報室】 kikaku-kouhou@nara-edu.ac.jp

